2017年5月9日

各位

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
（コード番号：8729　東証第一部）

本日、ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社の100%子会社であるソニー生命保険株式会社が下記プレスリリースを行いましたので、お知らせします。

記

ソニー生命保険株式会社　プレスリリース（添付）
社会人1年目と2年目の意識調査2017

以　上

【お問合せ先】
ソニー生命保険株式会社　広報部広報課 TEL:03-5290-6228

2017 年 5 月 9 日
ソニー生命保険株式会社

NEWS LETTER (調査レポート)

ソニー生命調べ／全国の社会人 1 年生・2 年生 1,000 名にアンケート

社会人 1 年目と 2 年目の意識調査 2017

社会人 1 年生の初任給の使いみち 「貯蓄に回す」「生活費に充てる」「親への贈り物を買う」

社会人 1 年生・2 年生の将来設計 「結婚」や「マイカー購入」の平均計画年齢は 30 歳
「第一子誕生」は 32 歳、「マイホーム購入」は 36 歳

社会人 1 年生・2 年生にとって仕事とは？
「お金を得る手段」が 6 割、「自己実現」「生きがい」は 1 割台

社会人 1 年生・2 年生が思う、落ち込んでいるときに先輩に言われたらやる気に火がつくセリフ
「次からはこうしようか」が 3 割半で最多回答、「いつでも相談して」「頑張ったんだね」は 3 割弱

社会人 1 年生・2 年生のやる気を奪うセリフ
ワースト 1 は「この仕事向いてないんじゃない？」、次に危険なセリフは「やる気ある？」

4 月から新年度となり、今年は約 89 万人が社会人の仲間入りをしたといわれています。多くの新社会人が、様々な思いを胸に社会人としての一歩を踏み出していることと思います。そこで、ソニー生命では、2014 年、2015 年、2016 年に続いて今年も、毎年この時期に実施している「社会人 1 年目と 2 年目の意識調査」を行いましたので、お知らせいたします。

◆本調査結果の要約◆

■ POINT 1 【社会人 1 年目の金銭事情】(P. 2-4)

⇒社会人 1 年生の初任給の使いみち 「貯蓄に回す」「生活費に充てる」「親への贈り物を買う」

この春から働き始めた社会人 1 年生（500 名）に、初任給はどのようなことに使いたいか聞いたところ、「貯蓄に回す」が 56.2%で最も多く、次いで、「生活費（食費など）に充てる」39.2%、「親への贈り物を買う」33.2%、「自分にちょっと良い物を買う」30.4%、「親をご馳走につれていく」29.4%が続きました。

■ POINT 2 【社会人 1 年生・2 年生の将来設計】(P.5-7)

⇒社会人 1 年生・2 年生の将来設計 「結婚」や「マイカー購入」の平均計画年齢は 30 歳
「第一子誕生」は 32 歳、「マイホーム購入」は 36 歳

全回答者（1,000 名）に、将来設計について聞きました。まず、《結婚》では、結婚について計画を立てている人の平均計画年齢は 30.0 歳となっています。次に、《出産（第一子の誕生）》について聞いたところ、第一子を持つ計画を立てている人の平均計画年齢は 31.7 歳となっています。続いて、大きな買い物の計画についても聞いたところ、《マイカー購入》では、計画を立てている人の平均計画年齢は 30.0 歳、《マイホーム購入》では、計画を立てている人の平均計画年齢は 36.3 歳となりました。

■ POINT 3 【社会人 1 年生・2 年生の仕事観】(P.8-11)

⇒社会人 1 年生・2 年生にとって仕事とは？
「お金を得る手段」が 6 割、「自己実現」「生きがい」は 1 割台

社会人 1 年生・2 年生は、どのような仕事観を持っているのでしょうか。全回答者（1,000 名）に、自身にとって仕事とは何か、最もあてはまるものを聞いたところ、「お金を得る手段」が 59.1%と 6 割となり、「自己実現」（13.8%）や「生きがい」（11.0%）が 1 割台、「社会貢献」（8.9%）が 1 割弱で続きました。“仕事＝お金を得る手段”と考えている人が過半数となりましたが、自己実現や生きがいを仕事に見出している人も少なくないようです。

■ POINT 4 【社会人 1 年生・2 年生の“仕事のやる気スイッチ”】(P.14-16)

⇒社会人 1 年生・2 年生が思う、落ち込んでいるときに先輩に言われたらやる気に火がつくセリフ
「次からはこうしようか」が 3 割半で最多回答、「いつでも相談して」「頑張ったんだね」は 3 割弱

全回答者（1,000 名）に、落ち込んでいるとき（仕事上で失敗したときなど）に、先輩社会人に言われたら、やる気に火がつくセリフは何か聞いたところ、「次からはこうしようか（改善策を指示）」が 35.4%で最も多く、次いで、「困ったことがあったらいつでも相談して」28.7%、「頑張ったんだね、ありがとう」27.8%、「一緒に頑張ろう！」22.2%、「失敗は誰にでもあるよ」21.7%が続きました。

⇒社会人 1 年生・2 年生のやる気を奪うセリフ
ワースト 1 は「この仕事向いてないんじゃない？」、次に危険なセリフは「やる気ある？」

反対に、先輩社会人に言われたら、やる気が奪われるセリフは何か聞いたところ、「この仕事向いてないんじゃない？」が 38.9%で最も多く、次いで、「やる気ある？」35.4%、「ゆとり世代だなぁ」33.4%、「そんなことは常識でしょ」24.0%、「私が若いころは〇〇だったのに」22.9%が続きました。

2017 年 5 月 9 日
ソニー生命保険株式会社

NEWS LETTER (調査レポート)

社会人 1 年目と 2 年目の意識調査 2017

【社会人 1 年目の金銭事情】

社会人 1 年生の初任給の使いみち 「貯蓄に回す」「生活費に充てる」「親への贈り物を買う」
初任給は「貯蓄に回したい」が 5 割半も、実際に「貯蓄に回した」は 4 割弱

社会人 1 年目にかかった費用の平均額
「身だしなみ」5.0 万円、「プライベートな付き合い」18.4 万円「自己投資」1.9 万円
社会人 1 年目の「実家に入れた金額」は平均 13.2 万円、「貯蓄額」は 43.4 万円
30 歳時点の目標貯蓄額 「1 千万円以上」が 22.6%

【社会人 1 年生・2 年生の将来設計】

社会人 1 年生・2 年生の将来設計 「結婚」や「マイカー購入」の平均計画年齢は 30 歳
「第一子誕生」は 32 歳、「マイホーム購入」は 36 歳

【社会人 1 年生・2 年生の仕事観】

社会人 1 年生・2 年生にとって仕事とは？
「お金を得る手段」が 6 割、「自己実現」「生きがい」は 1 割台

社会人 1 年生・2 年生にとって良い会社とは？「職場の人間関係が良い」が最多回答
「給与は高いことは良い会社の条件」 社会人 2 年生では 4 割半、1 年生では 3 割半

社会人 2 年生の 30 歳時点の目標年収 「300 万円台」が 4 人に 1 人、平均額は 436 万円

社会人 1 年生の 3 人に 1 人が「定年まで働きたい」と回答

【社会人 2 年生に聞く、1 年目の残業実態と許容水準】

社会人 1 年目の残業実態 「月平均」16.6 時間、「繁忙期」は 27.3 時間、
社会人 2 年生が考える残業の「許容限界」は 23.5 時間、「望ましい水準」は 11.7 時間、
「健康被害があると感じる水準」は 46.8 時間

【社会人 1 年生・2 年生の“仕事のやる気スイッチ”】

社会人 1 年生・2 年生の 9 割強が「昇給・ボーナスアップ」でやる気スイッチオン！
「自分の成長」や「仕事の成果」を実感できたときは 9 割弱

社会人 1 年生・2 年生が思う、落ち込んでいるときに先輩に言われたらやる気に火がつくセリフ
「次からはこうしようか」が 3 割半で最多回答、「いつでも相談して」「頑張ったんだね」は 3 割弱

社会人 1 年生・2 年生のやる気を奪うセリフ
ワースト 1 は「この仕事向いてないんじゃない？」、次に危険なセリフは「やる気ある？」

【社会人 1 年生・2 年生の感覚】

「遅刻・欠勤連絡をメールや LINE でする」は否定派が 6 割強
「必要のない残業」は 8 割半がナシと回答、「タバコ休憩のとりすぎ」は 7 割半がナシ

このたび、ソニー生命保険株式会社（代表取締役社長　萩本　友男）は、2017 年 3 月 27 日～4 月 5 日の 10 日間、この春から働き始めた、または、就職してから 1 年経つ 20～29 歳の男女に対し、今年で 4 回目となる「社会人 1 年目と 2 年目の意識調査」をインターネットリサーチで実施し、1,000 名の有効サンプルの集計結果を公開しました。（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

2017 年 5 月 9 日
ソニー生命保険株式会社

NEWS LETTER (調査レポート)

アンケート調査結果

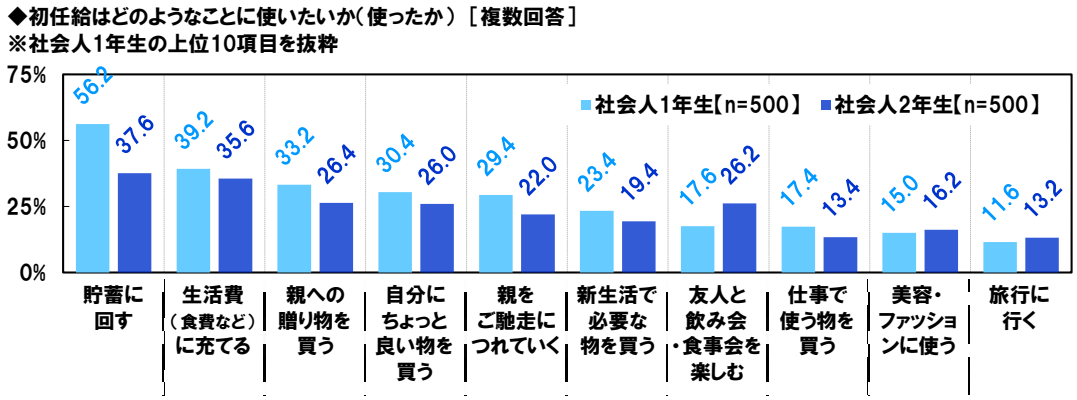
◆社会人 1 年生の初任給の使いみち 「貯蓄に回す」「生活費に充てる」「親への贈り物を買う」
◆初任給は「貯蓄に回したい」が 5 割半も、実際に「貯蓄に回した」は 4 割弱

この春から働き始めた社会人 1 年生（500 名）に、初任給はどのようなことに使いたいか聞いたところ、「貯蓄に回す」が 56.2%で最も多く、次いで、「生活費（食費など）に充てる」39.2%、「親への贈り物を買う」33.2%、「自分にちょっと良い物を買う」30.4%、「親をご馳走につれていく」29.4%が続きました。

次に、就職してから 1 年経つ社会人 2 年生（500 名）に、初任給はどのようなことに使ったか聞いたところ、「貯蓄に回す」が 37.6%で最も多く、次いで、「生活費（食費など）に充てる」35.6%、「親への贈り物を買う」26.4%、「友人と飲み会・食事会を楽しむ」26.2%、「自分にちょっと良い物を買う」26.0%が続きました。

社会人 1 年生と 2 年生を比べてみると、「貯蓄に回す」（社会人 1 年生 56.2%、2 年生 37.6%）では社会人 1 年生の割合が高くなりました。初任給を貯蓄に回そうと考えてはいたものの、実際には貯蓄に回せなかった人が多いのではないでしょうか。一方、「友人と飲み会・食事会を楽しむ」（社会人 1 年生 17.6%、2 年生 26.2%）や「旅行に行く」（社会人 1 年生 11.6%、2 年生 13.2%）などでは社会人 2 年生のほうが高くなりました。（図 1）

（図 1）



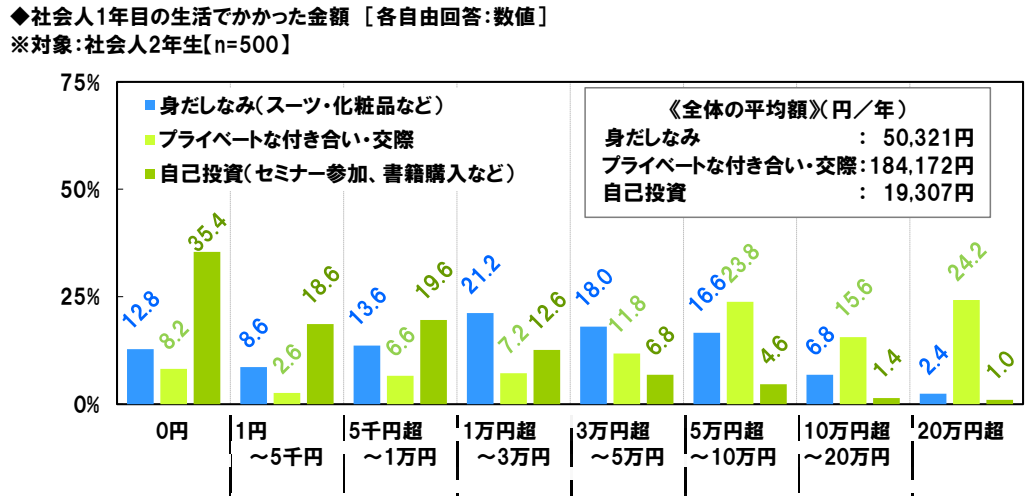
NEWS LETTER (調査レポート)

◆社会人 1 年目にかかった費用の平均額
「身だしなみ」5.0 万円、「プライベートな付き合い」18.4 万円「自己投資」1.9 万円
◆社会人 1 年目の「実家に入れた金額」は平均 13.2 万円、「貯蓄額」は 43.4 万円
◆30 歳時点の目標貯蓄額 「1 千万円以上」が 22.6%

続いて、社会人 2 年生（500 名）に、社会人 1 年目の生活でかかった金額について聞きました。

まず、「身だしなみ（スーツ・化粧品など）」にかかった金額を聞いたところ、「1 万円超～3 万円」（21.2%）や「3 万円超～5 万円」（18.0%）に回答が集まり、全体の平均額は 50,321 円となりました。
「プライベートな付き合い・交際」にかかった金額を聞いたところ、全体の平均額は 184,172 円となりました。給与の 1 ヶ月分に相当する金額（※）をプライベートな付き合いに投じたようです。
「自己投資（セミナー参加、書籍購入など）」にかかった金額を聞いたところ、全体の平均額は 19,307 円となりました。自己投資にお金をかけた人の割合（100%−「0 円」の割合で算出）は 64.6%となっています。（図 2）
※大卒の初任給 203.4 千円：「平成 28 年賃金構造基本統計調査結果（初任給）の概況」（厚生労働省）より

（図 2）

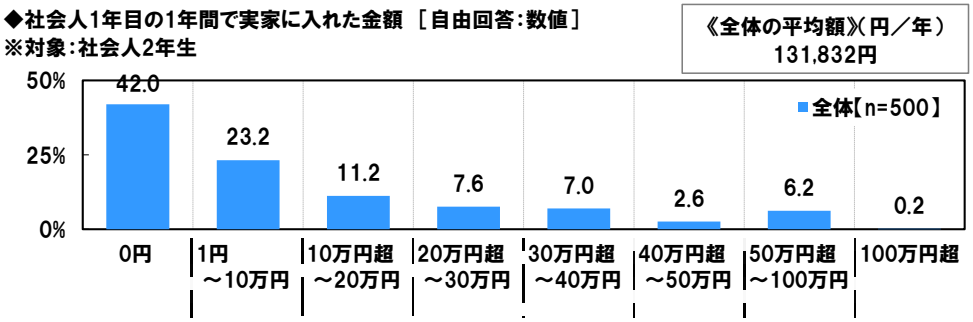


NEWS LETTER (調査レポート)

また、実家の仕送りや貯蓄にはいくらくらい回せたのでしょうか。

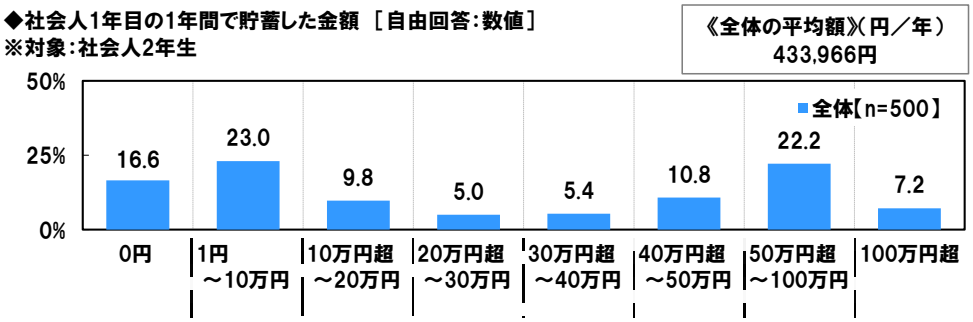
「実家に入れた金額」を聞いたところ、全体の平均額は 131,832 円となりました。実家にお金を入れた人の割合（100%−「0 円」の割合で算出）は 58.0%となっています。（図 3）

（図 3）



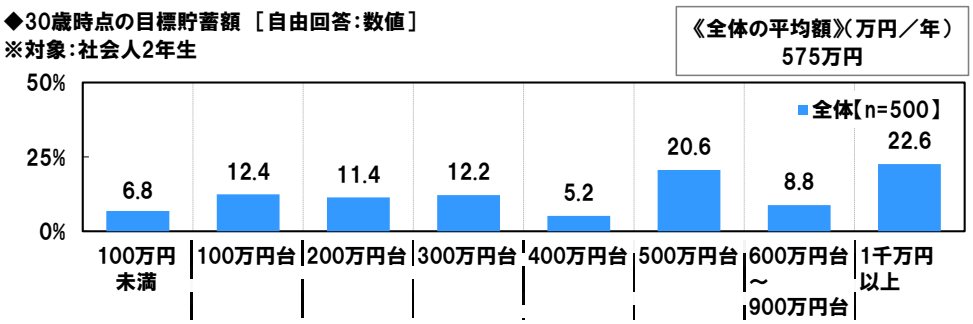
「貯蓄した金額」を聞いたところ、全体の平均額は 433,966 円となりました。金額の分布をみると、「1 円～10 万円」（23.0%）に回答が集まった一方で、「50 万円超～100 万円」（22.2%）との回答も少なくありませんでした。社会人 1 年目であまり貯蓄できなかった人としっかり貯蓄できた人が分かれる結果となりました。（図 4）

（図 4）



そして、30 歳時点の目標貯蓄額を聞いたところ、「500 万円台」（20.6%）や「1 千万円以上」（22.6%）との回答が多くみられました。“30 歳までに 1 千万円以上の貯蓄をしよう”という高い目標を設定している社会人 2 年生は少なくないようです。（図 5）

（図 5）



NEWS LETTER (調査レポート)

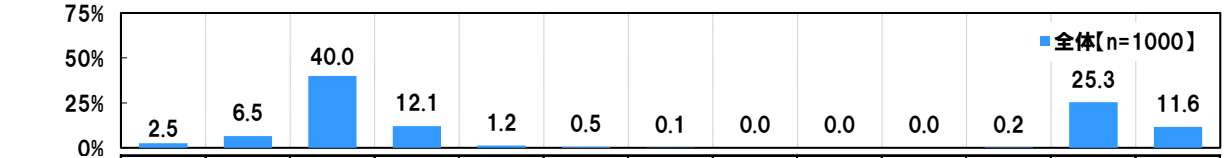
◆社会人 1 年生・2 年生の将来設計 「結婚」や「マイカー購入」の平均計画年齢は 30 歳 「第一子誕生」は 32 歳、「マイホーム購入」は 36 歳

社会人 1 年生・2 年生は、結婚や第一子の誕生などの将来設計（＝ライフプランニング）について、具体的に何歳くらいまでに達成したいとの計画を立てているのでしょうか。全回答者（1,000 名）に、将来設計について聞きました。

まず、《結婚》について聞いたところ、「～24 歳」が 6.5%、「～29 歳」が 40.0%で、それらの合計（20～29 歳）は 46.5%となりました。社会人 1 年生・2 年生の半数近くは 20 代のうちに結婚する計画を立てているようで、結婚について計画を立てている人の平均計画年齢は 30.0 歳となっています。一方、「したいと思うが、計画は立てていない」は 25.3%と 4 人に 1 人、「したいと思わない」は 11.6%と 1 割強が回答しました。漠然とした結婚願望はあるものの、具体的にいつまでに達成したいかという計画は立てていないという人も少なくないようです。（図 6）

（図 6）

◆何歳くらいまでに達成する計画を立てているか_結婚 ［単一回答］



	n数	既にしている	～24歳	～29歳	～34歳	～39歳	～44歳	～49歳	～54歳	～59歳	～64歳	65歳～	したいと思うが、計画は立てていない	したいと思わない	平均計画年齢（歳）※計画を立てている人
全体	1000	2.5	6.5	40.0	12.1	1.2	0.5	0.1	-	-	-	0.2	25.3	11.6	30.0
男性	500	1.2	4.6	33.2	16.2	2.2	0.6	-	-	-	-	0.2	29.4	12.4	30.7
女性	500	3.8	8.4	46.8	8.0	0.2	0.4	0.2	-	-	-	0.2	21.2	10.8	29.3

（%）

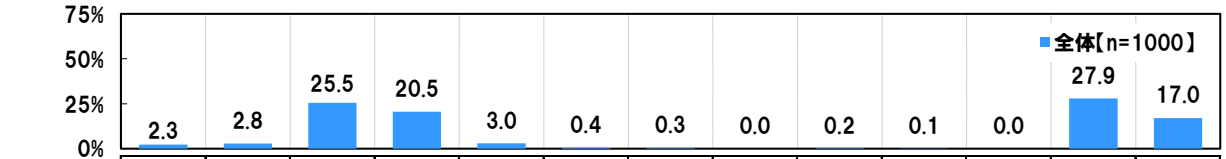
NEWS LETTER (調査レポート)

次に、《出産（第一子の誕生）》について聞いたところ、「～29 歳」が 25.5%、「～34 歳」が 20.5%となり、それらの合計（25～34 歳）は 46.0%となりました。20 代後半から 30 代前半のうちに第一子を持つ計画を立てている人が多いようで、第一子を持つ計画を立てている人の平均計画年齢は 31.7 歳となっています。

20 代（20～29 歳）の割合を男女別にみると、男性が 16.8%、女性が 39.8%となり、女性のほうが多くなりました。20 代のうちに第一子を持つ計画を立てている女性が多いようです。（図 7）

（図 7）

◆何歳くらいまでに達成する計画を立てているか_出産（第一子の誕生）［単一回答］



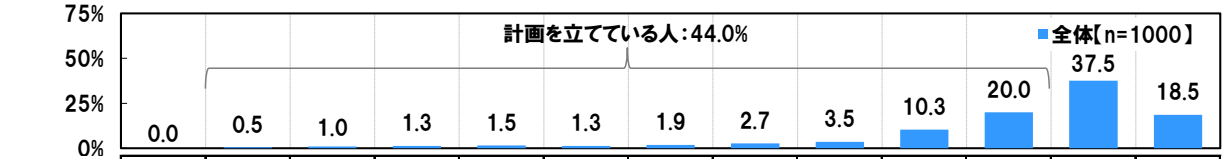
	n数	既にしている	～24歳	～29歳	～34歳	～39歳	～44歳	～49歳	～54歳	～59歳	～64歳	65歳～	したいと思うが、計画は立てていない	したいと思わない	平均計画年齢（歳）※計画を立てている人
全体	1000	2.3	2.8	25.5	20.5	3.0	0.4	0.3	-	0.2	0.1	-	27.9	17.0	31.7
男性	500	1.2	2.4	14.4	22.8	4.8	0.8	0.4	-	0.2	0.2	-	34.4	18.4	33.0
女性	500	3.4	3.2	36.6	18.2	1.2	-	0.2	-	0.2	-	-	21.4	15.6	30.6

(%)

また、《リタイア生活》について聞いたところ、計画を立てている人（計画年齢を回答した人の割合）が 44.0%、「したいと思うが、計画は立てていない」は 37.5%となり、計画を立てている人の平均計画年齢は 61.0 歳となりました。（図 8）

（図 8）

◆何歳くらいまでに達成する計画を立てているか_リタイア生活 ［単一回答］



	n数	既にしている	～24歳	～29歳	～34歳	～39歳	～44歳	～49歳	～54歳	～59歳	～64歳	65歳～	したいと思うが、計画は立てていない	したいと思わない	平均計画年齢（歳）※計画を立てている人
全体	1000	-	0.5	1.0	1.3	1.5	1.3	1.9	2.7	3.5	10.3	20.0	37.5	18.5	61.0
男性	500	-	0.6	1.2	1.0	2.4	1.2	2.4	3.4	2.4	11.4	22.0	32.4	19.6	60.8
女性	500	-	0.4	0.8	1.6	0.6	1.4	1.4	2.0	4.6	9.2	18.0	42.6	17.4	61.3

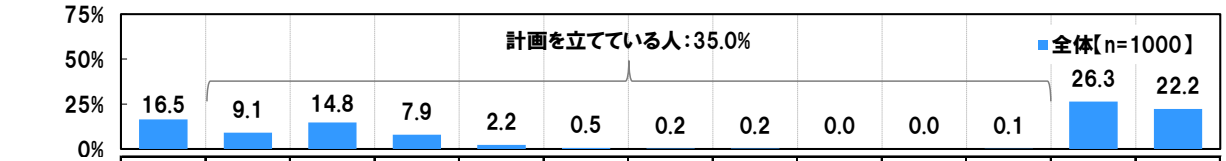
(%)

NEWS LETTER (調査レポート)

続いて、大きな買い物の計画についても聞いたところ、《マイカー購入》では、「既にしている」が 16.5%、計画を立てている人が 35.0%、「したいと思うが、計画は立てていない」が 26.3%となり、計画を立てている人の平均計画年齢は 30.0 歳となりました。現時点で具体的な計画を立ててはいないものの、マイカーを持ちたいと考えている人は 4 人に 1 人の割合でいるようです。（図 9）

（図 9）

◆何歳くらいまでに達成する計画を立てているか_マイカー購入 ［単一回答］



	n数	既にしている	～24歳	～29歳	～34歳	～39歳	～44歳	～49歳	～54歳	～59歳	～64歳	65歳～	したいと思うが、計画は立てていない	したいと思わない	平均計画年齢（歳）※計画を立てている人
全体	1000	16.5	9.1	14.8	7.9	2.2	0.5	0.2	0.2	-	-	0.1	26.3	22.2	30.0
男性	500	16.0	10.4	17.4	7.6	2.4	0.4	0.2	0.2	-	-	0.2	24.8	20.4	29.9
女性	500	17.0	7.8	12.2	8.2	2.0	0.6	0.2	0.2	-	-	-	27.8	24.0	30.3

（%）

また、《マイホーム購入》では、「既にしている」が 1.3%、計画を立てている人が 35.6%、「したいと思うが、計画は立てていない」が 40.9%となり、計画を立てている人の平均計画年齢は 36.3 歳となりました。（図 10）

（図 10）

◆何歳くらいまでに達成する計画を立てているか_マイホーム購入 ［単一回答］



	n数	既にしている	～24歳	～29歳	～34歳	～39歳	～44歳	～49歳	～54歳	～59歳	～64歳	65歳～	したいと思うが、計画は立てていない	したいと思わない	平均計画年齢（歳）※計画を立てている人
全体	1000	1.3	0.6	4.9	15.5	9.4	3.9	0.5	0.6	0.1	0.1	-	40.9	22.2	36.3
男性	500	0.6	0.8	2.8	13.6	11.4	5.2	0.6	0.8	-	0.2	-	39.2	24.8	37.3
女性	500	2.0	0.4	7.0	17.4	7.4	2.6	0.4	0.4	0.2	-	-	42.6	19.6	35.2

（%）

将来設計の平均計画年齢でみると、30 歳で結婚とマイカー購入をし、30 代前半で第一子を持ち、30 代後半でマイホーム購入をするというのが、社会人 1 年生・2 年生の平均的なライフプランであるようです。

NEWS LETTER (調査レポート)

◆社会人 1 年生・2 年生にとって仕事とは？
「お金を得る手段」が 6 割、「自己実現」「生きがい」は 1 割台

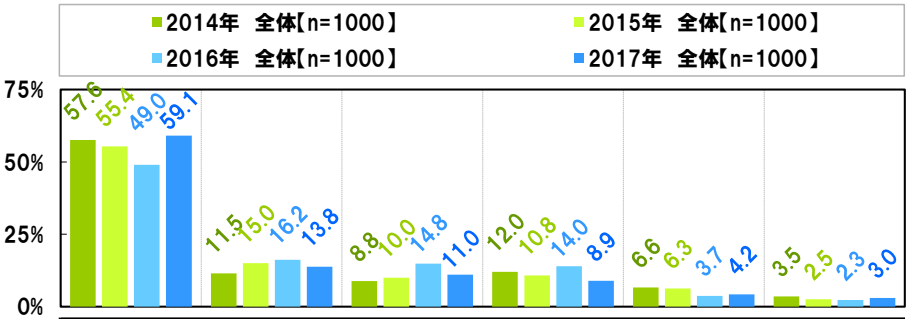
では、社会人 1 年生・2 年生は、どのような仕事観を持っているのでしょうか。

全回答者（1,000 名）に、自身にとって仕事とは何か、最もあてはまるものを聞いたところ、「お金を得る手段」が 59.1%と 6 割となり、「自己実現」（13.8%）や「生きがい」（11.0%）が 1 割台、「社会貢献」（8.9%）が 1 割弱で続きました。“仕事＝お金を得る手段”と考えている人が過半数となりましたが、自己実現や生きがいを仕事に見出している人も少なくないようです。

過去の調査結果と比較してみると、2016 年調査まで「お金を得る手段」は 2014 年 57.6%→2015 年 55.4%→2016 年 49.0%と下降傾向でしたが、今回の調査では 2016 年調査とは一転して 10.1 ポイントの上昇となりました。（図 11）

（図 11） 経年調査

◆自身にとって仕事とは何か ［単一回答］



		n数	お金を得る手段	自己実現	生きがい	社会貢献	義務	交流の場
2014年	全体	1000	57.6	11.5	8.8	12.0	6.6	3.5
	男性	413	57.1	10.9	10.2	12.6	6.1	3.1
	女性	587	57.9	11.9	7.8	11.6	7.0	3.7
2015年	全体	1000	55.4	15.0	10.0	10.8	6.3	2.5
	男性	500	53.0	18.2	10.2	10.4	5.4	2.8
	女性	500	57.8	11.8	9.8	11.2	7.2	2.2
2016年	全体	1000	49.0	16.2	14.8	14.0	3.7	2.3
	男性	500	42.6	20.2	16.8	15.0	3.6	1.8
	女性	500	55.4	12.2	12.8	13.0	3.8	2.8
2017年	全体	1000	59.1	13.8	11.0	8.9	4.2	3.0
	男性	500	51.2	16.6	13.6	12.0	3.4	3.2
	女性	500	67.0	11.0	8.4	5.8	5.0	2.8

（%）

NEWS LETTER (調査レポート)

◆社会人 1 年生・2 年生にとって良い会社とは？「職場の人間関係が良い」が最多回答
◆「給与は高いことは良い会社の条件」 社会人 2 年生では 4 割半、1 年生では 3 割半

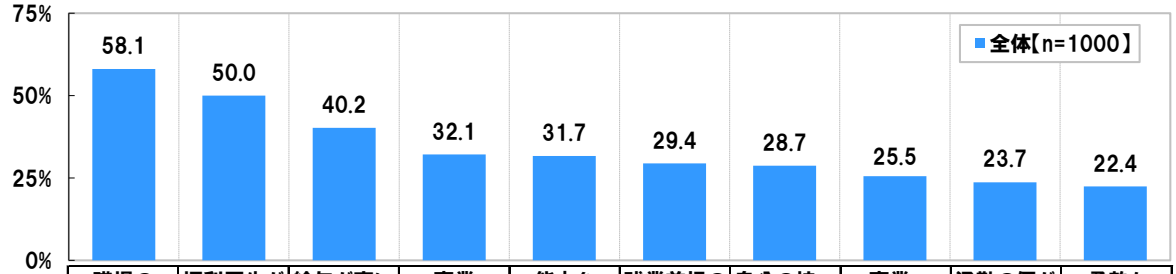
続いて、全回答者（1,000 名）に、「良い会社（職場）」だと感じるのは、どのような会社（職場）か聞いたところ、「職場の人間関係が良い」が 58.1%で最も多く、次いで、「福利厚生が充実している」50.0%、「給与が高い」40.2%、「事業・経営が安定している」32.1%、「能力を高める機会がある（教育がしっかりしているなど）」31.7%が続きました。「職場の人間関係が良い」は 6 割弱が回答しており、“人間関係が良い職場＝良い会社”だと感じる社会人 1 年生・2 年生が多いようです。

男女別にみると、「職場の人間関係が良い」（男性 49.4%、女性 66.8%）や「福利厚生が充実している」（男性 43.2%、女性 56.8%）、「残業前提の働き方でない」（男性 24.2%、女性 34.6%）では男性よりも女性のほうが高くなっており、女性はこれらの要素をより重視していることがわかりました。

また、社会人 2 年生の回答に注目してみると、「給与が高い」では 45.8%となり、社会人 1 年生（34.6%）よりも高くなりました。実際に 1 年間働いてみると、働いた成果がしっかり自身の給与に反映されることを良い会社の要素として考えるようになる人が増えるのかもしれません。（図 12）

（図 12）

◆「良い会社（職場）」だと感じるのは、どのような会社（職場）か ［複数回答］ ※上位10項目を抜粋



		n数	職場の人間関係が良い	福利厚生が充実している	給与が高い	事業・経営が安定している	能力を高める機会がある（教育がしっかりしているなど）	残業前提の働き方でない	自分の持つ知識や能力を活かせる仕事に携われる	事業・経営に将来性がある	通勤の便が良い	柔軟な働き方ができる（リモートワークなど）
全体		1000	58.1	50.0	40.2	32.1	31.7	29.4	28.7	25.5	23.7	22.4
性別	男性	500	49.4	43.2	38.6	29.2	29.6	24.2	27.6	27.2	21.0	19.4
	女性	500	66.8	56.8	41.8	35.0	33.8	34.6	29.8	23.8	26.4	25.4
年次	1年生	500	59.0	51.8	34.6	32.0	31.8	28.0	28.6	25.0	22.6	21.4
	2年生	500	57.2	48.2	45.8	32.2	31.6	30.8	28.8	26.0	24.8	23.4

全体比+5pt以上／全体比-5pt以下　（%）

NEWS LETTER (調査レポート)

◆30 歳時点の目標年収 「300 万円台」が 4 人に 1 人、平均額は 436 万円

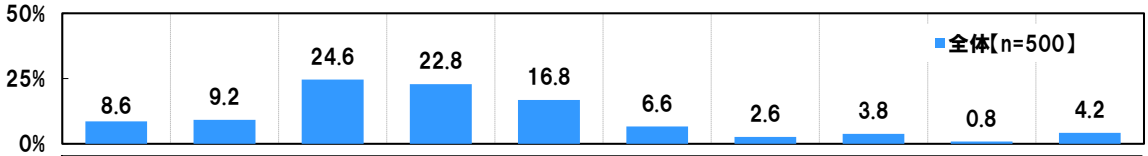
では、収入の目標はいくらくらいに設定しているのでしょうか。

社会人 2 年生（500 名）に、30 歳時点の目標年収を聞いたところ、「300 万円台」（24.6%）や「400 万円台」（22.8%）に回答が集まり、全体の平均額は 436 万円となりました。

男女別にみると、平均額は男性が 485 万円、女性が 388 万円となり、男性のほうが 30 歳時点の目標年収を高く設定していることがわかりました。（図 13）

（図 13）

◆30歳時点の目標年収 ［自由回答：数値］
※対象：社会人2年生



	n数	200万円未満	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1000万円以上	平均額（万円）
全体	500	8.6	9.2	24.6	22.8	16.8	6.6	2.6	3.8	0.8	4.2	436
男性	250	8.4	6.8	19.6	21.2	18.4	9.2	2.8	5.2	1.6	6.8	485
女性	250	8.8	11.6	29.6	24.4	15.2	4.0	2.4	2.4	-	1.6	388

（%）

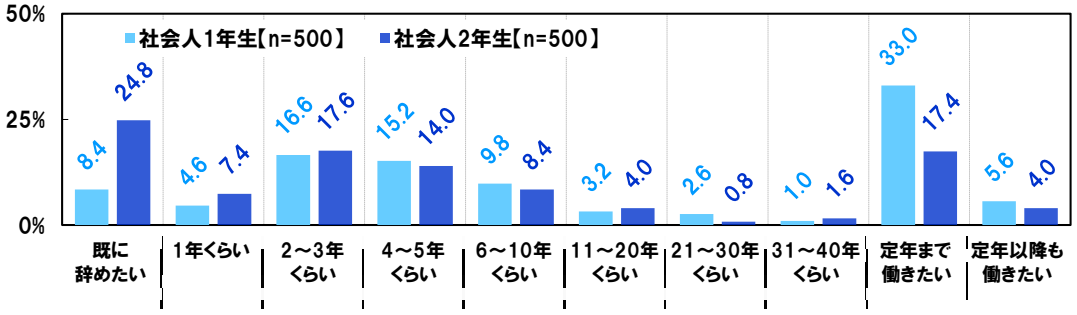
NEWS LETTER (調査レポート)

◆社会人 1 年生の 3 人に 1 人が「定年まで働きたい」と回答
◆社会人 2 年生の 4 人に 1 人が「今の会社を既に辞めたい」と回答

続いて、全回答者(1,000 名)に、最初に就職する(した)会社で、どのくらいの間、働いていたいと思うか聞いたところ、「定年まで働きたい」は社会人 1 年生では 33.0%と、社会人 2 年生(17.4%)より高くなり、「既に辞めたい」は社会人 2 年生では 24.8%と、社会人 1 年生(8.4%)より高くなりました。社会人 2 年生には、実際に働いた 1 年間で、就職する前に抱いていたイメージとのミスマッチを感じるようになり、辞めたいと思うようになってしまった人が少なくないのかもしれません。(図 14)

(図 14)

◆最初に就職する(した)会社で、どのくらいの間、働いていたいと思うか [単一回答]



NEWS LETTER (調査レポート)

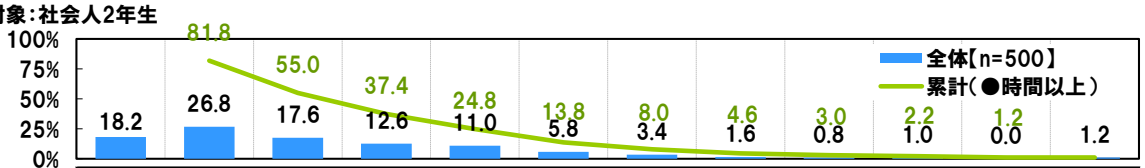
◆社会人 1 年目の残業実態 「月平均」16.6 時間、「繁忙期」は 27.3 時間
◆社会人 2 年生が考える残業の「許容限界」は 23.5 時間、「望ましい水準」は 11.7 時間、「健康被害があると感じる水準」は 46.8 時間

働き方改革が推し進められる中で、残業時間の上限規制について議論されていますが、実際に 1 年間働いた社会人 2 年生は、どのくらいの残業をしていたのでしょうか。

社会人 2 年生（500 名）に、《社会人 1 年目の残業時間（1ヶ月あたり）》について聞いたところ、「0 時間」は 18.2%、「1～10 時間未満」は 26.8%、「10～20 時間未満」は 17.6%、「20～30 時間未満」は 12.6%、「30～40 時間未満」は 11.0%、「40 時間以上」は 13.8%となりました。平均残業時間は全体で 16.6 時間、男性では 21.0 時間、女性では 12.2 時間でした。（図 15）

（図 15）

◆自身にあてはまる時間_社会人1年目の残業時間（1ヶ月あたり）［自由回答：数値］
※対象：社会人2年生



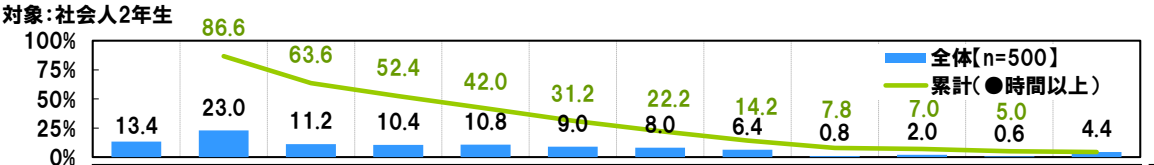
	n数	0時間	1～10時間未満	10～20時間未満	20～30時間未満	30～40時間未満	40～50時間未満	50～60時間未満	60～70時間未満	70～80時間未満	80～90時間未満	90～100時間未満	100時間以上	平均（時間）
全体	500	18.2	26.8	17.6	12.6	11.0	5.8	3.4	1.6	0.8	1.0	-	1.2	16.6
男性	250	12.8	22.0	18.8	14.0	13.2	6.8	5.6	1.6	1.6	1.6	-	2.0	21.0
女性	250	23.6	31.6	16.4	11.2	8.8	4.8	1.2	1.6	-	0.4	-	0.4	12.2

（%）

同様に、《繁忙期（残業時間が 1 番多かった月）の残業時間》についても聞いたところ、「0 時間」は 13.4%、「1～10 時間未満」は 23.0%、「10～20 時間未満」は 11.2%、「20～30 時間未満」は 10.4%、「30～40 時間未満」は 10.8%、「40 時間以上」は 31.2%となりました。およそ 3 人に 1 人は、繁忙期に 40 時間以上の残業をしていたようです。繁忙期の平均残業時間は全体で 27.3 時間、男性では 34.8 時間、女性では 19.8 時間でした。（図 16）

（図 16）

◆自身にあてはまる時間_繁忙期（残業時間が1番多かった月）の残業時間 ［自由回答：数値］
※対象：社会人2年生



	n数	0時間	1～10時間未満	10～20時間未満	20～30時間未満	30～40時間未満	40～50時間未満	50～60時間未満	60～70時間未満	70～80時間未満	80～90時間未満	90～100時間未満	100時間以上	平均（時間）
全体	500	13.4	23.0	11.2	10.4	10.8	9.0	8.0	6.4	0.8	2.0	0.6	4.4	27.3
男性	250	9.2	18.8	7.2	12.0	10.8	10.4	10.0	9.6	1.2	2.8	0.8	7.2	34.8
女性	250	17.6	27.2	15.2	8.8	10.8	7.6	6.0	3.2	0.4	1.2	0.4	1.6	19.8

（%）

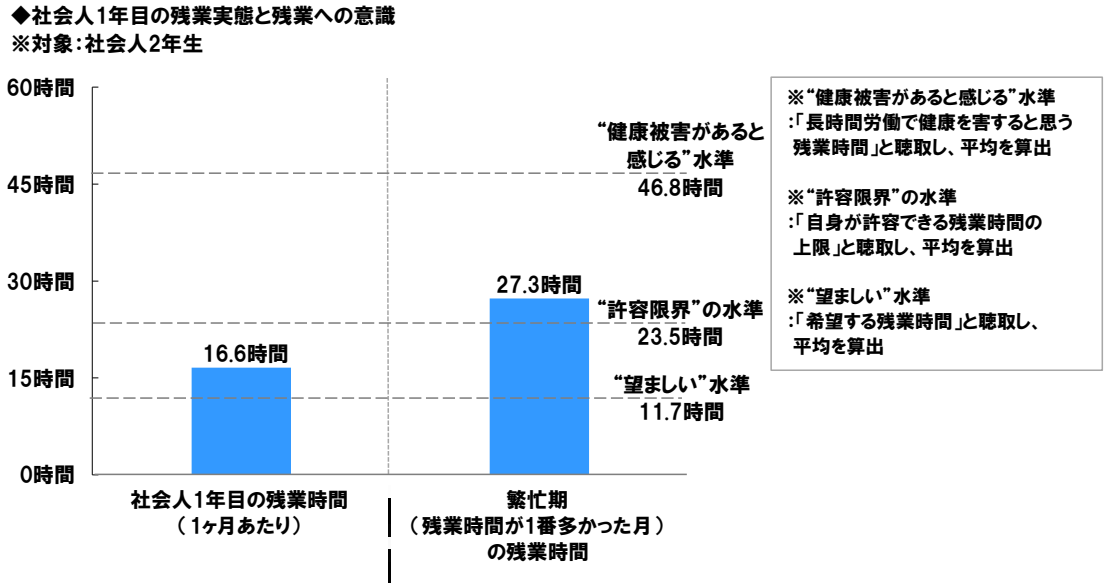
NEWS LETTER (調査レポート)

では、社会人 2 年生は、残業時間について、どのような意識を持っているのでしょうか。

社会人 2 年生（500 名）に、《長時間労働で健康を害すると思う残業時間》について聞いたところ、平均 46.8 時間となり、《自身が許容できる残業時間の上限》では平均 23.5 時間、《希望する残業時間》では平均 11.7 時間となりました。社会人 2 年生が 1 年間働いてみて感じた、残業時間の“望ましい”水準は 12 時間程度、“許容限界”の水準は 24 時間程度、“健康被害があると感じる”水準は 47 時間程度であるようです。

また、残業時間の実態と合わせてみると、社会人 1 年目の平均残業時間（16.6 時間）は、望ましい水準（11.7 時間）を上まわっており、繁忙期の平均残業時間（27.3 時間）は“許容限界”の水準（23.5 時間）を上まわっていることがわかりました。（図 17）

（図 17）



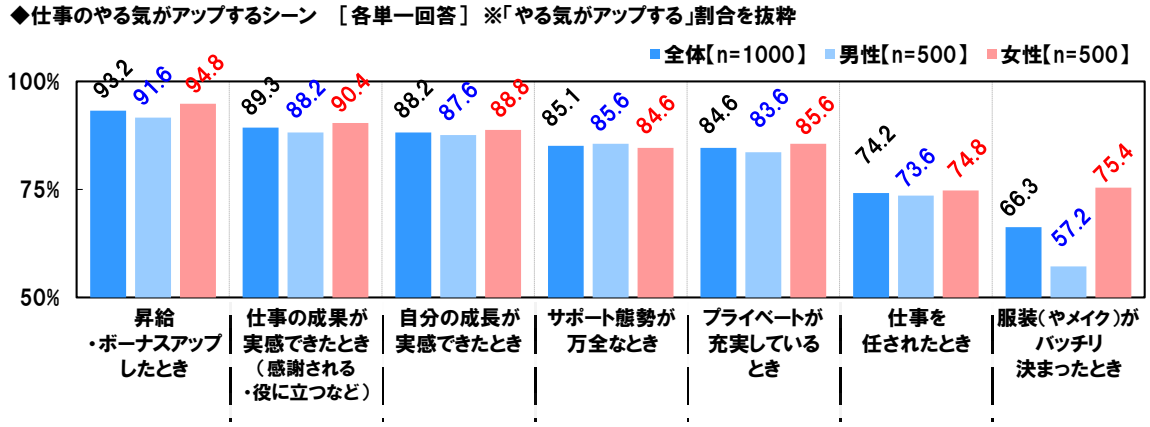
NEWS LETTER (調査レポート)

◆社会人 1 年生・2 年生の 9 割強が「昇給・ボーナスアップ」でやる気スイッチオン！「自分の成長」や「仕事の成果」を実感できたときは 9 割弱

全回答者（1,000 名）に、仕事のやる気がアップするシーンについて聞いたところ、「昇給・ボーナスアップしたとき」が 93.2%で最も多く、次いで、「仕事の成果が実感できたとき（感謝される・役に立つなど）」89.3%、「自分の成長が実感できたとき」88.2%、「サポート体制が万全なとき」85.1%、「プライベートが充実しているとき」84.6%が続きました。社会人 1 年生・2 年生の多くは、昇給・ボーナスアップしたときや仕事の成果・自分の成長が実感できたときにやる気スイッチが入るようです。

男女別にみると、「服装（やメイク）がバッチリ決まったとき」では男性が 57.2%、女性が 75.4%となりました。女性は、服装などがバッチリ決まったときにもやる気スイッチが入ることがわかりました。（図 18）

（図 18）



NEWS LETTER (調査レポート)

◆社会人 1 年生・2 年生が思う、落ち込んでいるときに先輩に言われたらやる気に火がつくセリフ
「次からはこうしようか」が 3 割半で最多回答、「いつでも相談して」「頑張ったんだね」は 3 割弱
◆社会人 1 年生・2 年生にとってやる気アップにつながるセリフとは？
「責任は俺が持つよ」は男性に、「いつでも相談して」「自分を責めないで」は女性に響く

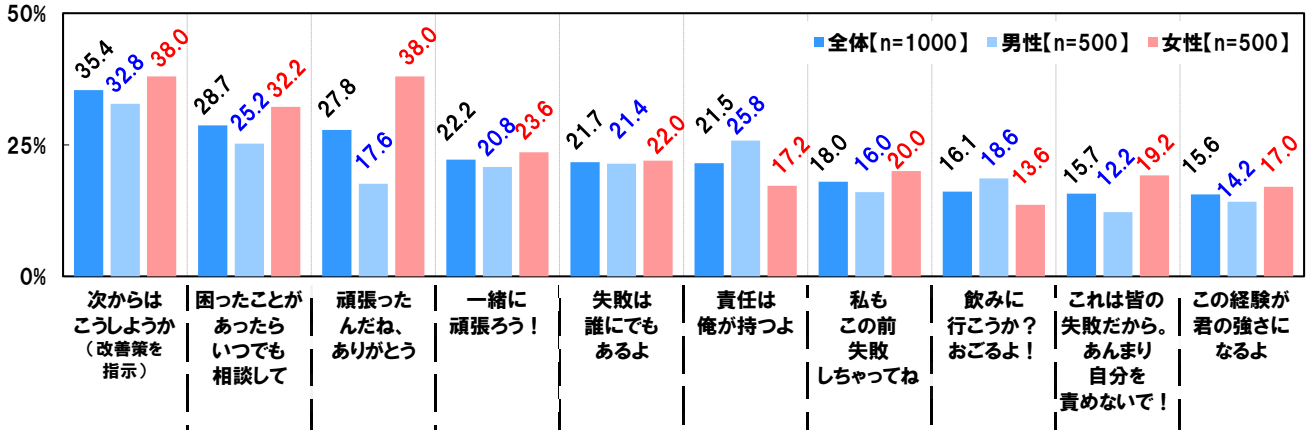
社会人 1 年生・2 年生にとって、先輩社会人から言われてやる気に火がつくセリフや、逆にやる気が奪われるセリフとはどのようなものなのでしょうか。

全回答者（1,000 名）に、落ち込んでいるとき（仕事上で失敗したときなど）に、先輩社会人に言われたら、やる気に火がつくセリフは何か聞いたところ、「次からはこうしようか（改善策を指示）」が 35.4%で最も多く、次いで、「困ったことがあったらいつでも相談して」28.7%、「頑張ったんだね、ありがとう」27.8%、「一緒に頑張ろう！」22.2%、「失敗は誰にでもあるよ」21.7%が続きました。具体的な改善策を示してくれたり、努力を評価して感謝の気持ちを伝えてくれたりしてもらえるようなセリフを言われると、たとえ落ち込んでいてもやる気に火がつく社会人 1 年生・2 年生が多いようです。

男女別にみると、「困ったことがあったらいつでも相談して」（男性 25.2%、女性 32.2%）や「頑張ったんだね、ありがとう」（男性 17.6%、女性 38.0%）、「これは皆の失敗だから。あんまり自分を責めないで！」（男性 12.2%、女性 19.2%）では女性のほうが高くなり、「責任は俺が持つよ」（男性 25.8%、女性 17.2%）では男性のほうが高くなりました。困ったときに助けになってくれるセリフや努力を評価して感謝の気持ちを伝えてくれるセリフでは女性のほうが、“失敗の責任はとるから”とフォローしてくれるようなセリフでは男性のほうが、やる気に火がつく人が多いことがわかりました。（図 19）

（図 19）

◆落ち込んでいるとき（仕事上で失敗したときなど）に、先輩社会人に言われたら、やる気に火がつくセリフは何か ［複数回答：3つまで］ ※上位10項目を抜粋



NEWS LETTER (調査レポート)

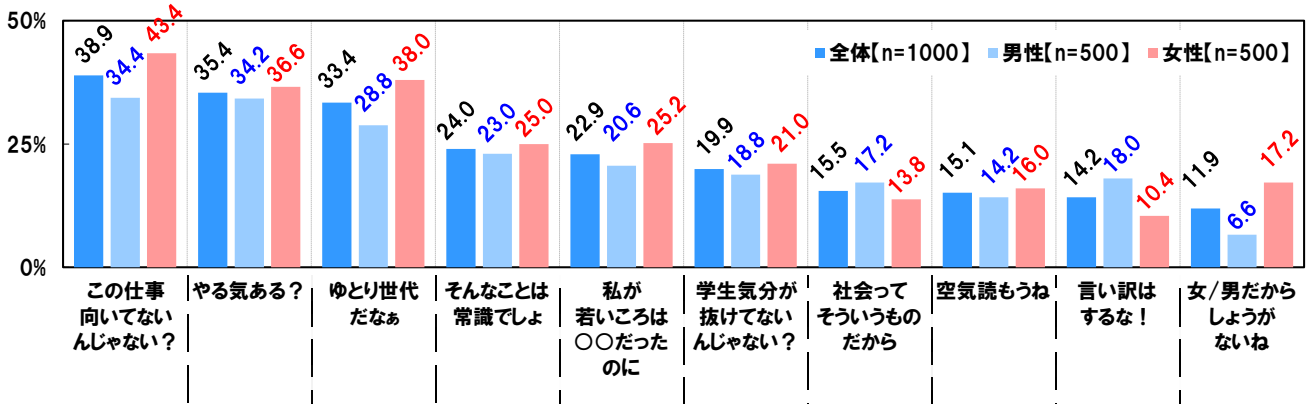
◆社会人 1 年生・2 年生のやる気を奪うセリフ
ワースト 1 は「この仕事向いてないんじゃない？」、次に危険なセリフは「やる気ある？」
◆社会人 1 年生・2 年生に対しては「ゆとり世代」「常識でしょ」「私が若いころは」も NG ワード

反対に、先輩社会人に言われたら、やる気が奪われるセリフは何か聞いたところ、「この仕事向いてないんじゃない？」が 38.9%で最も多く、次いで、「やる気ある？」35.4%、「ゆとり世代だなぁ」33.4%、「そんなことは常識でしょ」24.0%、「私が若いころは〇〇だったのに」22.9%が続きました。仕事の適性や仕事のやる気を否定されるようなセリフを言われると、やる気が奪われてしまう社会人 1 年生・2 年生が多いようです。

男女別にみると、「この仕事向いてないんじゃない？」（男性 34.4%、女性 43.4%）や「ゆとり世代だなぁ」（男性 28.8%、女性 38.0%）、「女/男だからしょうがないね」（男性 6.6%、女性 17.2%）では女性のほうが高くなり、「言い訳はするな！」（男性 18.0%、女性 10.4%）では男性のほうが高くなりました。（図 20）

（図 20）

◆先輩社会人に言われたら、やる気が奪われるセリフは何か ［複数回答：3つまで］ ※上位10項目を抜粋



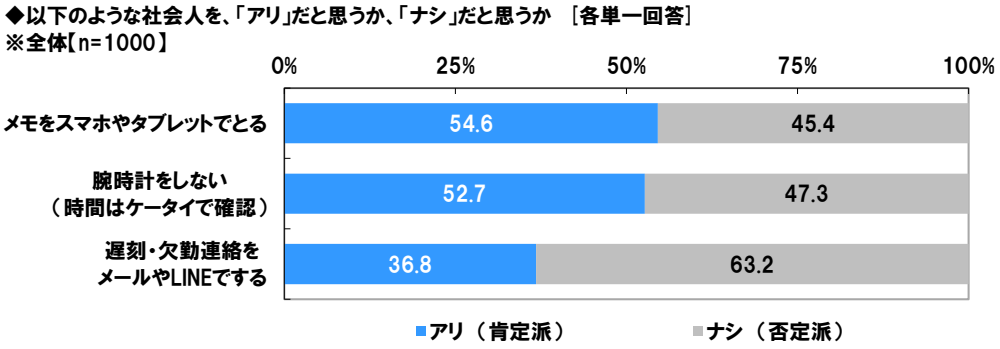
NEWS LETTER (調査レポート)

◆「遅刻・欠勤連絡をメールや LINE でする」は否定派が 6 割強
◆「必要のない残業」は 8 割半がナシと回答、「タバコ休憩のとりすぎ」は 7 割半がナシ

業務中のスマホの活用の仕方について、社会人 1 年生・2 年生はどのような感覚を持っているのでしょうか。

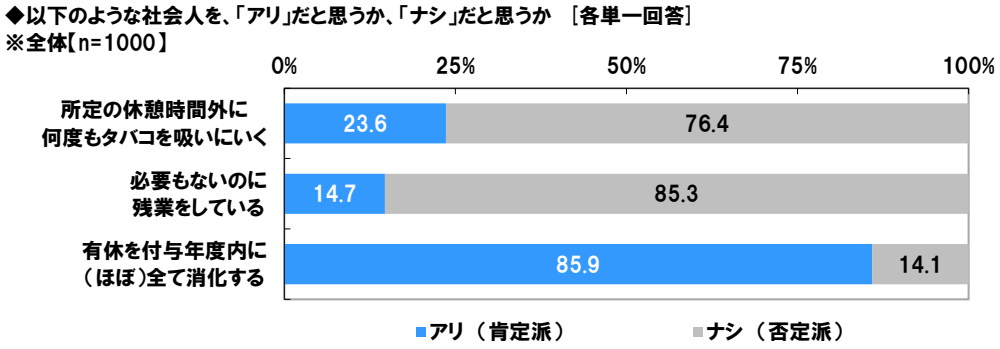
全回答者（1,000 名）に聞いたところ、《メモをスマホやタブレットでとる》では「アリ（肯定派）」54.6%、「ナシ（否定派）」45.4%、《腕時計をしない（時間はケータイで確認）》では「アリ」52.7%、「ナシ」47.3%、《遅刻・欠勤連絡をメールや LINE でする》では「アリ」36.8%、「ナシ」63.2%となりました。業務中のスマホ活用のルールは会社によって異なるものの、社会人 1 年生・2 年生の考えとしては、スマホなどでメモをとることや腕時計をしないことについては肯定派が多数となり、遅刻・欠勤連絡をメールや LINE ですることについては否定派が多数となっているようです。（図 21）

（図 21）



また、休憩や残業、休暇について聞いたところ、《所定の休憩時間外に何度もタバコを吸いにいく》では「アリ」23.6%、「ナシ」76.4%、《必要もないのに残業をしている》では「アリ」14.7%、「ナシ」85.3%、《有休を付与年度内に（ほぼ）全て消化する》では「アリ」85.9%、「ナシ」14.1%となりました。頻繁なタバコ休憩や必要のない残業については否定派が多数となり、有休の全消化については肯定派が多数となっています。所定労働時間内はしっかり仕事をし、有休はしっかりとるといったように、オンとオフの切り替えがしっかりしている社会人 1 年生・2 年生が多いのではないでしょうか。（図 22）

（図 22）



2017 年 5 月 9 日
ソニー生命保険株式会社

NEWS LETTER (調査レポート)

注:本調査レポートの百分率表示は小数点第 2 位で四捨五入の丸め計算を行っているため、合計しても 100%とならない場合がございます。
また、属性別集計において抜粋して表示している場合は、n 数を合計しても全体と一致しないことがございます。

≪調査概要≫

◆調査タイトル　:社会人1年目と2年目の意識調査2017

◆調査対象　:ネットエイジアリサーチのモニター会員を母集団とする
この春から働き始めた、または、就職してから1年経つ20～29歳の男女

◆調査期間　:2017年3月27日～4月5日

◆調査方法　:インターネット調査

◆調査地域　:全国

◆有効回答数　:1,000サンプル（有効回答から社会人1年目と2年目を均等に抽出）
（内訳）この春から働き始めた社会人1年生500名（男性250名・女性250名）
就職してから1年経つ社会人2年生500名（男性250名・女性250名）

◆調査協力会社　:ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、

「ソニー生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申しあげます。

■■本調査に関するお問い合わせ窓口■■

ソニー生命保険株式会社　広報部　広報課　丸山、大金
電話番号　：　03-5290-6228

■■会社概要■■

会社名　:ソニー生命保険株式会社
代表者名　:代表取締役社長　萩本　友男
設立　:1979（昭和 54）年 8 月
所在地　:東京都千代田区大手町 1-9-2　大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
業務内容　:生命保険業

SL17-0691-0003